



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成27年11月4日 東

上場会社名 株式会社テレビ東京ホールディングス 上場取引所
 コード番号 9413 URL http://www.txhd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 雄一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理局長 (氏名) 岩田 英治 (TEL) 03-5473-3001
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日 配当支払開始予定日 平成27年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家及び報道関係者向け)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	65,739	4.2	3,978	49.3	4,167	44.8	2,500	57.4
27年3月期第2四半期	63,079	8.4	2,663	11.6	2,878	10.9	1,589	119.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 2,384百万円(△7.4%) 27年3月期第2四半期 2,573百万円(90.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	88.43	—
27年3月期第2四半期	56.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	99,379	72,947	71.4
27年3月期	100,565	71,260	68.9

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 70,934百万円 27年3月期 69,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.50	—	22.50	35.00
28年3月期	—	15.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,000	4.1	6,500	30.0	6,700	23.4	4,200	35.9	148.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	28,779,500株	27年3月期	28,779,500株
28年3月期2Q	500,768株	27年3月期	500,513株
28年3月期2Q	28,278,816株	27年3月期2Q	28,279,554株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月～9月)における日本経済は、中国経済の減速等海外景気の下振れが懸念されるものの、政府や日銀による経済・金融政策等を背景に企業収益や雇用情勢に改善が見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況で、当社グループの連結売上高は657億3千9百万円、前年同期比4.2%の増収、営業利益は39億7千8百万円、前年同期比49.3%の増益となりました。また、経常利益は41億6千7百万円、前年同期比44.8%の増益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億円、前年同期比57.4%の増益となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりです。

(地上波放送事業)

放送収入のうちタイム収入は、ローカルタイムセールスにおいて、期を通じてゴールデン帯のミニ番組、深夜番組の営業企画セールスに苦戦し、また前年度の「2014 F I F A ワールドカップ ブラジル大会」の反動もあり、245億4千2百万円、前年同期比5.8%の減収となりました。スポット収入は、販促企画によるシェアアップ、高シェア広告主の大型出稿、新規広告主の開拓などにより、143億5千3百万円、前年同期比0.8%の増収となりました。タイム・スポットトータル収入は388億9千5百万円、前年同期比3.5%の減収となりました。BS等収入は、16億9千5百万円、前年同期比23.0%の増収でした。

番組販売収入は、4月スタート新番組「ソレダメ!～あなたの常識は非常識!?～」 「YOUは何しに日本へ?」 「金曜8時のドラマ」など、ゴールデン帯の番組が好調を維持するとともに、「昼めし旅～あなたのご飯見せてください!～」 「ポンコツ&さまぁ～ず」などゴールデン帯以外の番組も売上を伸ばし、19億8千2百万円、前年同期比2.1%の増収となりました。

ソフトライツ収入のうち、一般番組では、人気シリーズである「孤独のグルメ」「ゴッドタン」などのDVD販売と配信事業が好調に推移しました。また、アジアを中心に「まさはる君が行く!ポチたまペットの旅」「YOUは何しに日本へ?」などバラエティ番組の販売も引き続き好調に推移しました。映画事業では、「超高速!参勤交代」「アウトレージ ビヨンド」など大型作品のDVD販売と配信事業が好調でした。アニメ事業では、国内における「妖怪ウォッチ」の商品化などが好調に推移し、海外においては中国をはじめとしたライセンス収入が「NARUTO」を中心に好調に推移しました。また、昨年12月公開の「映画 妖怪ウォッチ」などが好成績をおさめ売上を伸ばしました。ソフトライツ収入全体では、91億8千3百万円、前年同期比74.0%の増収となりました。

イベント収入は、「サイバーエージェントレディスゴルフトーナメント」「ミュージカル テニスの王子様 3rdシーズン」などがありましたが、前年度は「スターズ・オン・アイス2014」があったこともあり、イベント収入全体では1億6百万円、前年同期比92.7%の減収となりました。

一方費用面では、営業費用全体で494億7千5百万円、前年同期比0.2%の増加となりました。

以上の結果、地上波放送事業の売上高は518億8千2百万円、前年同期比3.1%の増収、営業利益は24億7百万円、前年同期比154.1%の増益となりました。

(放送周辺事業)

CS放送関連では、アニメ専門チャンネル「AT-X」の加入者数の横ばいが続きました。広告関連の売上は伸ばしたものの、(株)エー・ティー・エックスの売上高は26億1千8百万円、前年同期比2.7%の減収となりました。

一方、音楽出版関連は、印税収入が堅調に推移しました。「妖怪ウォッチ」関連楽曲に加え、「ウルトラマン列伝」「牙狼」など二次使用による売上も好調に推移し、(株)テレビ東京ミュージックの売上高は15億1千万円、前年同期比4.7%の増収となりました。

また、通信販売関連は、平日午前の「なないろ日和!」のほか、深夜早朝のインフォマーシャル枠でも家電製品などを中心に好調が続きました。これにより、(株)テレビ東京ダイレクトの売上高は42億6千5百万円、前年同期比9.5%の増収となりました。

以上の結果、上述3社を含む放送周辺事業全体の売上高は168億4千8百万円、前年同期比3.4%の増収、営業利益は12億2千1百万円、前年同期比14.0%の増益となりました。

(BS放送事業)

放送収入は、4月から始まった「日経モーニングプラス」や「にっぽん真発見」がレギュラー番組セールスの底上げに大きく貢献しました。スポットセールスも引き続き好調だったほか、「ファンケルクラシックゴルフ」「ヨネックスレディス2015」「ゴルフ5レディス プロゴルフトーナメント」などのゴルフ特番や開局15周年特番「日本を動かした5人のキーパーソン」などのセールスも順調にすすみ、放送収入全体で良好に推移しました。

一方、費用面では、番組の充実を図るために「日経モーニングプラス」等のレギュラー番組をスタートさせたことによる番組制作費の増加がありました。

以上の結果、BS放送事業の売上高は75億3千8百万円、前年同期比9.8%の増収、営業利益は7億円、前年同期比45.1%の減益となりました。

(インターネット・モバイル事業)

インターネット・モバイル事業では、4月より開始している動画配信サービス「ネットもテレ東キャンペーン」のほか、動画サービスの拡充に積極的に取り組みました。キャラクター関連では、「スヌーピー」生誕65周年を迎え、国内外におけるデジタルコンテンツ展開および公式ECサイト「おかいものスヌーピー」でのオリジナル商品の売上が好調でした。また、原作「カナヘイ」による新規キャラクターのライセンス売上が予想を上回る結果となりました。

以上の結果、インターネット・モバイル事業の売上高は19億2千8百万円、前年同期比9.7%の増収、営業利益は1億4千5百万円、前年同期比12.6%の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は623億8千9百万円、前連結会計年度に比して1億4千6百万円の減となっております。これは主に、金銭の信託が4億7千4百万円の増、制作勘定が4億5千9百万円の増となったものの、現金及び預金が5億3千4百万円の減、受取手形及び売掛金が5億2千2百万円の減となったことによるものです。

固定資産は369億8千9百万円、前連結会計年度に比して10億3千9百万円の減となっております。これは主に、有形固定資産が7億1千3百万円の減、投資有価証券が3億1千1百万円の減となったことによるものです。

(負債)

流動負債は206億6百万円、前連結会計年度に比して26億6千7百万円の減となっております。これは主に、支払手形及び買掛金が4億7千3百万円の減、未払費用が3億7千9百万円の減、その他が18億7千9百万円の減となったことによるものです。

固定負債は58億2千5百万円、前連結会計年度に比して2億5百万円の減となっております。これは主に、その他が2億8千3百万円の減となったことによるものです。

(純資産)

純資産は729億4千7百万円、前連結会計年度に比して16億8千7百万円の増となっております。これは主に、その他有価証券評価差額金が2億3千5百万円の減となったものの、利益剰余金が18億6千4百万円の増となったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年7月31日に公表いたしました平成28年3月期の通期の数値を修正しております。詳細につきましては平成27年11月4日公表の「2016年3月期 第2四半期決算補足資料」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,950	25,416
受取手形及び売掛金	24,276	23,754
金銭の信託	—	474
制作勘定	10,353	10,813
商品	51	65
貯蔵品	15	16
未収還付法人税等	311	118
その他	1,587	1,743
貸倒引当金	△9	△12
流動資産合計	62,536	62,389
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,795	6,432
その他(純額)	11,471	11,121
有形固定資産合計	18,267	17,554
無形固定資産		
その他	1,085	1,167
無形固定資産合計	1,085	1,167
投資その他の資産		
投資有価証券	13,981	13,670
その他	4,740	4,639
貸倒引当金	△45	△41
投資その他の資産合計	18,676	18,267
固定資産合計	38,029	36,989
資産合計	100,565	99,379
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,011	3,537
短期借入金	1,100	1,100
未払費用	10,472	10,093
賞与引当金	1,549	1,453
未払法人税等	674	834
その他	5,466	3,586
流動負債合計	23,273	20,606
固定負債		
役員退職慰労引当金	46	11
退職給付に係る負債	3,756	3,867
その他	2,229	1,945
固定負債合計	6,031	5,825
負債合計	29,305	26,431

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	20,338	20,338
利益剰余金	36,038	37,903
自己株式	△624	△625
株主資本合計	65,752	67,616
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,534	3,298
為替換算調整勘定	16	20
その他の包括利益累計額合計	3,550	3,318
非支配株主持分	1,957	2,013
純資産合計	71,260	72,947
負債純資産合計	100,565	99,379

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	63,079	65,739
売上原価	44,203	45,147
売上総利益	18,875	20,592
販売費及び一般管理費		
人件費	3,439	3,558
賞与引当金繰入額	468	557
退職給付費用	179	174
役員退職慰労引当金繰入額	4	11
代理店手数料	8,745	8,991
貸倒引当金繰入額	—	1
賃借料	657	652
減価償却費	231	326
その他	2,485	2,340
販売費及び一般管理費合計	16,212	16,613
営業利益	2,663	3,978
営業外収益		
受取利息	10	10
受取配当金	144	136
為替差益	4	—
持分法による投資利益	12	24
受取賃貸料	41	41
その他	19	21
営業外収益合計	233	235
営業外費用		
支払利息	12	11
為替差損	—	0
投資事業組合運用損	4	8
金銭の信託運用損	—	25
その他	0	0
営業外費用合計	18	46
経常利益	2,878	4,167

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	0	—
補助金収入	32	—
受取補償金	—	105
その他	0	—
特別利益合計	33	105
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	1	1
投資有価証券売却損	117	—
投資有価証券評価損	101	1
ゴルフ会員権評価損	7	1
その他	32	0
特別損失合計	261	5
税金等調整前四半期純利益	2,650	4,267
法人税、住民税及び事業税	556	1,574
法人税等調整額	380	75
法人税等合計	936	1,649
四半期純利益	1,713	2,617
非支配株主に帰属する四半期純利益	124	117
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,589	2,500

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	1,713	2,617
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	839	△237
為替換算調整勘定	△7	3
退職給付に係る調整額	28	—
その他の包括利益合計	860	△233
四半期包括利益	2,573	2,384
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,450	2,268
非支配株主に係る四半期包括利益	123	115

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,650	4,267
減価償却費	1,190	1,411
賞与引当金の増減額(△は減少)	△276	△95
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△71	△78
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4	△34
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	72	111
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△1
受取利息及び受取配当金	△155	△147
支払利息	12	11
投資事業組合運用損益(△は益)	4	8
固定資産売却損益(△は益)	0	—
固定資産除却損	1	1
投資有価証券売却損益(△は益)	117	—
投資有価証券評価損益(△は益)	101	1
持分法による投資損益(△は益)	△12	△24
売上債権の増減額(△は増加)	△240	522
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,019	△474
仕入債務の増減額(△は減少)	△228	△473
未払費用の増減額(△は減少)	△944	△379
前受金の増減額(△は減少)	△147	△345
長期未払金の増減額(△は減少)	183	△59
その他	213	△676
小計	3,495	3,545
利息及び配当金の受取額	155	146
利息の支払額	△12	△11
法人税等の支払額	△540	△1,352
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,096	2,328

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,720	△12,720
定期預金の払戻による収入	12,720	12,779
金銭の信託の取得による支出	—	△500
有形固定資産の取得による支出	△1,063	△1,254
無形固定資産の取得による支出	△152	△268
投資有価証券の取得による支出	△55	△25
投資有価証券の売却による収入	8	—
関係会社株式の売却による収入	9	—
貸付金の回収による収入	4	3
その他	△5	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,253	△1,991
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△133	△119
自己株式の売却による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△640	△635
非支配株主への配当金の支払額	△73	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△847	△815
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	992	△475
現金及び現金同等物の期首残高	7,576	13,181
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,568	12,706

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	地上波放送 事業	放送周辺 事業	B S放送 事業	インター ネット・ モバイル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	46,062	9,132	6,656	1,227	63,079	—	63,079
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,277	7,165	212	531	12,186	△12,186	—
計	50,340	16,298	6,868	1,758	75,265	△12,186	63,079
セグメント利益	947	1,071	1,275	129	3,423	△759	2,663

(注) 1. セグメント利益の調整額△759百万円には、セグメント間取引等消去49百万円、無形固定資産・制作勘定の調整額△17百万円及び全社費用△791百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	地上波放送 事業	放送周辺 事業	B S放送 事業	インター ネット・ モバイル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	47,499	9,637	7,318	1,283	65,739	—	65,739
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,382	7,211	220	645	12,459	△12,459	—
計	51,882	16,848	7,538	1,928	78,199	△12,459	65,739
セグメント利益	2,407	1,221	700	145	4,474	△496	3,978

(注) 1. セグメント利益の調整額△496百万円には、セグメント間取引等消去48百万円、無形固定資産・制作勘定の調整額3百万円及び全社費用△548百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。